

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターはぐはぐ子ども村		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日		～ 令和8年 2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 16日		～ 令和8年 3月 18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年 1月 26日		～ 令和8年 2月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援員が臨床心理士と公認心理師の資格を持っている。	本人支援の視点に立ったうえで、保育園での関りや本人の困り感に気づき、保育士の悩みにも助言することができるように取り組んでいる。	現状を維持していく。
2	利用児が皆、保育所等訪問支援と児童発達支援を併用している。	利用児理解のために児童発達支援事業との連携を図っている。訪問する際は、事前に通所支援での様子を確認してから訪問している。	児童発達支援事業所での様子、保育園での様子を把握できていることで両者の連携を図ることができる
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員が一人で、多忙ゆえに、日程調整が難しい。	療育支援、強化事業と兼務しているほか、地域の保健センターとも連携を行っているため、訪問日が多く、多忙になっている。訪問依頼が増えている。	日程調整担当を決め、計画的に訪問できるよう、できるだけ急な日程変更がないように努めてはいる。訪問先施設の協力もあり、お休み等があるときは、すぐに連絡をいただいている。
2			
3			